

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先	
294276_河合町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	児童期の学習習慣は、その後の学習習慣に影響するため、苦手の克服や勉強の楽しさを感じる事が重要。	河合第一小学校、河合第二小学校において放課後学習支援事業「河合町すな丸未来塾」を実施。地域の方の協力を得ながら学校の宿題を中心に学習支援を行う。	現在、夏休み等の長期休みには実施できていない。学習習慣の定着を目標とするためには切れ目のない支援が必要と考え、長期休み中の実施についても計画する。	児童期における学習習慣の定着	「河合町すな丸未来塾」の実施回数(1校あたり年間36回)	50	その他	72	49	2	5月～2月を事業期間とし、夏休み等の長期休暇を除く週1回、地域住民や大学生の協力を得ながら学校の教室を活用し放課後の学習支援事業に取り組んだ。実施後の保護者アンケートより「学習習慣の定着につながったと思う」と回答した人の割合が54.5%で過半数であった。実施回数を増やすために夏休み中の実施を検討したが熱中症のリスクを考慮して実施を見送った。結果、目標値に未達となった。	https://www.town.kawai.nara.jp/kakuka/kyoiku/4/6664.html

○令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

令和7年度の仮申請や本申請の際に設定したものをそのまま記載してください。

※課題の類型1から本年度の目標値までの欄

・本年度の実績値

「目標の達成度を測る指標」について、本年度の実績値を記載してください。

・アウトカムの達成度に関する評価

当該年度におけるアウトカムの達成度(課題の解決・改善の進捗度)を5段階で自己評価してください。

【選択肢】

- 05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 01 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直しが求められる

・事業における成果、課題、改善点等

「アウトカムの達成度に関する評価」に対する分析を行い、その結果を具体的に記載してください。

目標値を達成し、課題の解決・改善が見られた場合は、本事業における成果を具体的に記載するとともに、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点などを記載してください。

目標値の達成に至らなかった場合は、その要因を具体的に記載するとともに、事業実施上で課題となっていることや次年度に向けた改善点などを記載してください。

・目標の公表先

令和7年度の目標や実績などについて公表しているホームページのURL等を入力してください。

公表に当たっては本事業の目標等を単独で掲載する必要はありません。例えば、本事業で「学校における働き方改革」に資する取組を実施する場合は、各教育委員会の「学校における働き方改革」の取組状況の一環として公表することが効果的であると考えられます。